

## 「令和6年度の終了にあたり」

校長 萩原 隆行

令和7年の年明けから早くも3か月がたち、間もなく令和6年度が終幕しようとしています。昨年度に引き続き、感染症などによる学級学年閉鎖は実施せず、教育計画に基づいた授業や行事を順調に進めることができました。また、おはようコミュニケーション(おはコミ)やクリーンデーへの参加など地域活動推進や中学生による小学生への走法指導、生徒会児童会交流、小学校での職場体験など小中一貫教育の充実に努めることができました。詳しくは「令和6年度八王子市立南大沢中学校の学校評価(自己評価)について」を裏面に掲載いたしましたので、そちらをご覧くださいと思います。

さて、先日の卒業式で第42代卒業生60名が本校から巣立っていきました。進学先で新たな挑戦をする60名に、素晴らしい未来が訪れることを願い、卒業式において式辞を贈りました。下に抜粋を掲載いたしましたのでお読みいただければ幸いです。

最後になりましたが、保護者の皆様、地域の皆様にはこの1年間、本校の教育活動に多大なご理解ご協力を賜りましたことをあらためて感謝申し上げます。ありがとうございました。

### 【卒業式校長式辞(抜粋)】

ただいま、卒業証書を授与され、本校を巣立ちゆく、第42回卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。式場サイドの窓に飾られたスタンドグラス、皆さんの手作り作品が3年間の集大成を鮮やかな光に変えて表してくれているようです。

この3年間は皆さんにとってどのような3年間だったのでしょうか。授業やクラス、行事、部活動などいろいろな思い出があると思います。山あり谷あり、成功したこともあれば失敗したこともあったことでしょうか。入学時にはコロナ禍の影響が残っていた状況の中、皆さんは学校生活でいろいろな経験をしながらたくさんのごことを学び、一年一年成長して今日を迎えることができました。

私が皆さんの頑張る姿で特に印象に残っているのは、3年生になって迎えた体育祭と合唱祭です。3年生は最高学年として常に後輩をリードしなければならない立場にありました。そのようなプレッシャーがかかる中、皆さんは、どちらの行事でも学年みんなで協力し、素晴らしいリーダーシップと最高学年としてのプライドを見せてくれました。

体育祭では全力で競技に取り組み、1組も2組も学級が良く団結して、後輩に範を示してくれました。応援合戦は、学年を超えた各団の心の繋がりが垣間見える、熱のこもった感動的なものとなっていました。南大沢中の全生徒が一心同体となった素晴らしい行事ができたのは、まさに3年生のリーダーシップのおかげです。そして合唱祭でも、コンクール形式ではないにも関わらず、素晴らしい合唱を作り上げ、その歌う姿勢で立派に後輩をリードしてくれました。参観してもらった小学校6年生の感想には「3年生の声がよく響き、音程も良く何回聞いても飽きない、心の落ち着く合唱で、全員が息ぴったりに歌っていてとても格好いいと思った。こういう中学生に私もなりたい。」という憧れの気持ちが書いてありました。在校生だけでなく、次年度入学してくるであろう未来の後輩にまで影響を及ぼす皆さんの力には心から感服いたしました。

さて、この卒業という節目にあたり、巣立っていく皆さんに一つの言葉を贈りたいと思います。それは「一生懸命努力したことはいつか必ず報われる」という言葉です。勉強でもスポーツでも仕事でも、一生懸命やっていると、



まず自分が成長します。自分の技術が高まっていきます。皆さんも部活動や習い事していると、自分の技術がどんどん高まっていくのを感じたことはありませんか。また、技術だけではなく、人としての資質が磨かれていきます。一生懸命に取り組むというのは、口で言うほど簡単なことではありません。人はどこかで楽をしたい、怠けたいという気持ちをもっているからです。そういう自分の弱さに打ち克つ強さも身に付きます。さらに、一生懸命やっている、周りの人の見方が変わってきます。やっていることを評価してくれるようになります。それによって皆さんのチャンスが広がっていくことがたくさんあると思います。

元メジャーリーガーのイチローさんは、高校の野球部で、1年生の秋にはもうレギュラーとなっていたそうです。ボールをバットに当てる技術が高く、スイングも鋭い。走るのも速く、投球は130km以上出ていました。当時の監督は、イチロー選手が普段から相当な練習を積んでいるのだらうと思っていました。ところが、他の部員と同じ練習メニューをこなすだけで、特別熱心に打ち込んでいる様子は見られず、そのため、天性のセンスで野球をしているのだと考えていたそうです。そんなある日のこと、野球部員の間に、夜になるとグラウンドの片隅に幽霊がでるといううわさが流れました。生徒があまりに噂をするので、監督さんはある日の深夜、恐る恐るグラウンドに行ってみようとしたそうです。すると確かに、何かがそこにいる気配がしたので、真っ暗な中、目を凝らしてよく見てみました。そこには暗がりの中で黙々と素振りに励むイチロー選手の姿があったそうです。

イチロー選手は確かに野球のセンスもあったのだと思いますが、隠れた努力を一生懸命積み上げてもいたのです。そしてその結果が、日本とアメリカの二か国での大活躍や、アジア人初のメジャーリーグでの野球殿堂入りとなったのだと思います。

どこに行っても、何をしても一生懸命努力することは皆さんを裏切りません。これからの生活の中で、「一生懸命努力してみる」ということを忘れずにいてほしいと思います。 (後略)

## 学校の様子



地域の方を招いたキャリア教育 (1年)



鎌倉校外学習 (2年)



赤ちゃんふれあい授業 (3年)



薬物乱用防止教室 (3年)



卒業前奉仕活動 (3年)



「TOKYO GLOBAL GATEWAY 立川」体験 (3年)